

## 平成 25 年度事業報告

『安心・安全・分かりやすく』をテーマに！

今年度は、新規雇用の人件費(サ責 1 名)及び布忍事務所に要する年間経費と、大幅な支出増を見込んでの運営であった。結果 **－¥2,517,510** の赤字決算にて経過。目標の年間 700h/月平均のサービス提供時間に達することもできなかった。

しかし、3 月のサービス提供時間が 782.0h までに増加したことは、次年度の黒字決算は可能な範囲と考える。(最低 800h/月平均 達成できれば・・・) また、ヘルパー人数も 10 名→16 名に増え、利用者数も 50 名を超えたことは、地域で必要とされる事業所として、一つのポイントはクリアできたか。さらには、女性利用者の利用率も大幅に上がってきており、女性ヘルパーも増えたことで次年度も期待できる。

まだまだ当事業所の課題は多々あるが、前向きに、しっかりとサービス提供ができるよう、次年度も残された課題に取り組む。

### 1. 『安心・安全・分かりやすく』について (リスクマネジメント)

#### ・各種マニュアル作成

→排泄・入浴・食事・感染症・記録の書き方等基本的な支援マニュアル  
サービスの基礎的支援ができてこそ応用力が身につく。

**結果** 移動支援事業マニュアルのみ作成済み。その他マニュアルは 26 年度の課題とする。

#### ・個人情報シートの作成

→個別的に緊急連絡先・慢性疾患・内服薬・ADL・対応方法 等を記載した書類を作成。  
各ヘルパーが参考にして対応可能なように。

**結果** 12 名作成。残り 40 名の作成が課題

#### ・利用カードの作成

→緊急時の対応として、緊急連絡先・慢性疾患名・かかりつけ病院・服薬内容 等を記載したカード(名刺サイズ)を利用時に携帯してもらおう。(利用者管理)

**結果** 今年度は達成できず。26 年度の課題とする。

#### ・居宅及び移動支援サービスの利用規定作成

→ニーズの多様化に伴い、各サービスの目的を明確化。

サービス利用に際して問い合わせがあった場合、分かりやすく説明できるように。(各指定都市の事業規定参照) 当事業所のニーズの高い移動支援サービスから作成。

**結果** 今年度は達成できず。26 年度の課題とする。

## 2. 登録ヘルパーについて

### ・登録ヘルパーの募集について

→事業所玄関にポスター掲示

近隣の専門学校や大学内での募集掲示の依頼

アルバイト専門誌の活用

\*登録ヘルパーは大学生～を基本とする(高校生採用については、社会的マナーからの指導が必要で育成に時間を要する。現状の体制ではサ責の同行時間に限りがあり難しい)

\*参考 4/1 現在の登録ヘルパー人数 = 男性 8 名 女性 8 名 計 16 名

**結果** 登録ヘルパーは、求人専門誌パドを活用し 4 名採用(男性 1 名・女性 3 名)

\*当初の方針では高校生採用を見送っていたが、福祉業界全体が人材不足。よって、当事業所も将来の人材育成が必要と判断し高校生 1 名を採用。ただし、マンツーマン勤務であることと、社会経験も少ないことから同行を基本とし育成をめざす。

### ・ヘルパー業務注意事項の作成

→ヘルパー業務の約束事、または資質の向上となるような書類配布。移動支援マニュアルに付随した様式(案)で作成。

例 「責任者への連絡・相談・報告の仕方」・「記録の書き方」・「サービスにおけるQ&A」など

**結果** 移動支援事業マニュアルに掲載し、10月8日(火曜)事業所内研修を実施。(目標達成)

### ・サービス提供責任者の同行

→必要に応じてヘルパーに同行し相談・助言・指導を行う。(サービスの質の向上)

具体的には、主に二人支援の必要な利用者の際に、サ責と勤務を組み合わせ、直接各ヘルパーに相談・助言・指導を行う。一人支援においても定期的に同行。

☆「障害者虐待防止法」をベースに、サ責同行時等にヘルパーの接遇もチェック。

**結果** 毎月の予定を調整して実施。今後のサービスにおいても継続実施することで目標達成。

### ・働きやすい環境作り(やりがい・達成感)

→半年毎の評価(課題に取り組むことでスキルアップ。マンネリ化させない)

時給の見直し(移動 1,050 円～1,250 円 居宅 1,500 円～1,800 円?)

ヘルパー同士の交流(事業所内研修・グループガイド等)

副業的勤務が多いことから、個々に配慮した勤務調整。

担当外利用者への同行。(経験の上積み)

就業規則の見直し。

**結果** 時給については、移動=1,050 円～1,250 円 居宅(身体介護 1,500 円～1,800 円 通院介助 1,300 円(一律)に確定。就業規則も見直し済みであるが、65 歳定年制については、就業継続に意欲のある現在 64 歳のヘルパーも在籍しているため、新たな見直しも必要。また有給休暇の消化も含めて、26 年度の課題とする。

### 3. 関係機関との連携について

#### ・他事業所との連携

→緊急的ヘルパー派遣の依頼があった場合等に備えて。

必要に応じて関連事業所の見学や情報交換。

**結果** 松原市ヘルパー連絡会に登録。各制度や緊急時の対応方法等、様々な研修があり参加することができた。他事業所との情報交換の場として、今後も参加を継続する。(目標達成)

### 4. 事業方針の見直しについて（より地域の近い場所での事業運営をめざして）

#### ・女性サービス提供責任者の雇用

→女性登録ヘルパーが不足した場合のバックアップ体制

安定した女性利用者の確保。(男女平等な利用率が可能)

男性サービス提供責任者では、女性の排泄・プール利用に際してのヘルパー指導は難しい。

現在、常勤サービス提供責任者男性2名。今後の方向性としては、平成26年度同行援護事業開始を視野にサ責1名、平成28年度行動援護事業開始を視野にサ責1名の雇用を検討。(男女1名ずつ)

また、事業所としては登録ヘルパーのステップアップの場として、サ責を雇用(正規)。

\*かなりの運営努力は必要であるが・・・本事業の需要を考慮すると可能な範囲。5年後の安定運営を目指す。

**結果** 今年度も女性サ責の募集を求人専門誌パドとハローワークを活用したが、応募者無し。男性サ責も一時登録ヘルパーより採用したが、家庭の事情で不可。今後もヘルパーの登録人数は増やす方向性であること、またサ責能力のある登録ヘルパーも在籍していることから、経営状況を見て適宜採用を検討する。26年度の課題とする。

#### ・サービス提供責任者の業務について

→現在サービス提供責任者は、移動支援・居宅サービスの実働及び事務処理・関係各位の連絡調整・松校サポート勤務等を一元的に担っており過剰業務の状況である。よって、現在担っている移動支援・居宅サービスの一部実働を既存または・新人ヘルパー等に引き継ぎ業務の適正化を図る。サービス提供責任者本来の業務を担うことで、緊急時の対応等も含め、より良い利用者へのサービスが可能となる。管理者とサ責業務の分担も課題。

**結果** これまで川端(管理者兼サ責)が担っていた事務的業務を池上事務員が担当。また各利用者のサービス予定、及び、計画書作成等を大林サ責が担当。今後もサービス量は増加するため、それぞれの業務において業務改善が必要。(データ管理、各種様式変更、サービス調整方法等)26年度の課題とする。

#### ・サービス提供時間について

→サ責1名を雇用するにあたり、最低350h/月以上のサービス提供時間が必要。今後はニーズが高まりつつある、報酬単価の良い居宅サービス(通院介助・入浴介助)の実績を上げ、同行援護事業や行動援護事業への参入も視野に。また、サービス時において痰吸引の必要な利用者の依頼も

あることから、障害者に特化した当事業所としては、クリアしたい課題である。現在痰吸引のできる資格者不在により、痰吸引の事業所登録ができず、資格取得費用も高額とハードルは高い。

5年後にはサ責4名(1名管理者兼)での安定運営を可能とするため、1,400h/月以上のサービス提供時間をめざす。

**結果** 平成25年度実績 636.9h/月平均

利用者様と家族様の高齢化もあり、居宅通院介助のサービスは増加傾向。引き続き課題に取り組む。

## 5. 平成25年度 収支報告

・平成25年度サービス提供時間数目標=8,400h (移動:7,680h 居宅:720h)

収入目標=¥18,240,000



**結果** 年間サービス提供時間=7,642.5h(移動:6,736h 居宅:906.5h)

収支=¥17,062,786(収入) - ¥19,580,296(支出) = -¥2,517,510

布忍事務所に要する年間経費は、120万円~130万円必要。次年度以降も経費の削減に工夫した運営努力が必要。(現状のサ責2名体制では800h/月平均のサービス提供が必要か)

〈参考〉 えるでヘルパーステーション開所以来10年間の推移

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用料収入 (円)	4,020,000	6,202,000	5,860,000	7,546,000	7,296,954	6,906,330	7,849,131	8,224,455
サービス 提供時間数 (時間)	1,600	2,395	2,492	3,117	2,943.5	2,901.5	3,383	3,688

	24年度	25年度	26年度					
利用料収入 (円)	13,602,820	17,062,786	?					
サービス 提供時間数 (時間)	6,252	7,642.5	?					

## 6. その他

- 松校サポート授業について

→勤務調整上毎週金曜日の午前中に固定勤務にて経過。(年間収入約7万円)

- 気象影響について

→今年度も、突然の雷雨(9月~10月)、特に2月は大雪や寒暖の差の影響で、体調を崩し外出を控える利用者が激増した。年間では、400h程度のサービスを中止。(事業所判断含む)

来年度も引き続き、気象の影響を受けやすいガイドサービスの中止は予想される。事業所としては、利用者の安全を第一に判断が必要。

\*課題1~3については、平成26年度末で達成予定。

\*課題4については、平成29年度末以内で達成予定。